

MACROCOSM



CONTENTS

- 2 第22回「世界青年の船」事業(地方プログラム／課題別視察等)
- 6 「日本・韓国青年親善交流」事業(日韓青年親善交流のつどい)
- 8 「日本・中国青年親善交流」事業(招へい)
- 10 国際理解教育支援プログラム(宮城／東京)
- 12 日中青少年交流事業
- 13 内閣府青年国際交流事業 大学説明会

第22回「世界青年の船」事業（日本国内プログラム）

第22回「世界青年の船」事業では、日本参加青年約135名と、世界12か国（オーストラリア連邦、バーレーン王国、エクアドル共和国、エジプト・アラブ共和国、ギリシャ共和国、インド共和国、ケニア共和国、オマーン国、スリランカ民主社会主義共和国、トルコ共和国、アラブ首長国連邦、イエメン共和国）の青年約140名が「世界青年の船」に乗船し、各種の交流活動を行いました。当財団は日本国内プログラムの実施

にあたり、都内視察、地方プログラム、出航前研修及び課題別視察を行いました。1月22日の日本出航後（横浜港）、ドバイ、チェンナイに寄港した後、3月5日に東京に戻り、43日間の事業が終了しました。なお、今年度は「世界青年の船」事業としては初めて沖縄に給油地として寄港し、フリータイムの時間に沖縄県の協力のもと、沖縄県青年国際交流機構による交流プログラムが行われました。

■ 歓迎会(1月12日)



参加青年と歓談する泉健太内閣府大臣政務官



壇上で参加青年の紹介をするオーストラリアの青年

■ 地方プログラム(1月14日～17日)

栃木県



荒川勉栃木県県民生活部長を表敬訪問し、歓談する



「身体の発達には脳の発達の基礎となる」というポリシーのありんこ保育園を訪問し、荒川富夫園長より、教育理念についての話を聴く

山梨県



山梨英和幼稚園を訪問し、園児と交流する



株式会社田丸を視察し、リサイクルについての説明を受ける

富山県



地元青年とのディスカッション



エコタウンリサイクル施設の見学時に地元青年と歓談する外国青年

福井県



旭信昭福井県副知事を表敬訪問する



歓迎会にて、地元の踊りを教わり、踊りを通して交流する

三重県



三重大学の内田淳正学長を表敬訪問する



地元青年とのディスカッション後、発表方法を工夫する

徳島県



藍の館で藍染体験をする



歓迎会でパフォーマンスを披露するエクアドルの青年

■ 課題別視察(1月20日)

参加青年は、船内の中心的プログラムであるコース・ディスカッションの7つのテーマ別に、コースの内容に即した課題別視察を行いました。

企業の社会的責任(CSR)コース

テーマ：持続可能な国際的発展のための一つの主因 訪問先：ソニー株式会社



CSR部統括部長富田秀実氏よりCSRについての説明を受ける



ソニー株式会社の前で、CSRコース参加者が記念撮影をする

異文化理解コース

テーマ：多文化共生を実現する地域のリーダーとして 訪問先：ふれあい館



ふれあい館の立ち上げからかかわってこられた妻重度館長による講演



在日コリアン高齢者交流クラブ「トラチの会」の方と交流する

教育コース

テーマ：理想とする教育者を目指して 訪問先：大田区立道塚小学校／東京女子大学



外国語教育のモデル校である大田区立道塚小学校にて児童と交流する



東京女子大学の学生ボランティアによるキャンパス案内

環境コース

テーマ：未来の環境を21世紀青年はどう創生する？ 訪問先：東京都廃棄物埋立管理事務所・中央防波堤埋立処分場／東京農業大学総合研究所



中央防波堤埋立処分場を視察し、担当者から説明を受ける



東京農業大学にて生ごみを酵母により発酵させ、エタノールに変換するシステムについて説明を聴く

国際連合コース

テーマ：地球規模問題と人の移動 講演者：国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）／国際移住機関（IOM）



UNHCR駐日事務所渉外室の小坂順一郎上席連絡調整官と歓談する参加青年



IOM駐日事務所の中山暁雄代表による講演を聴く

ボランティアコース

テーマ：青年の積極的な社会参加へのステップ、社会変化の要因としてのボランティア 訪問先：NICE



自然学習センターにて竹を切る等のボランティア活動を体験する



NICEについての説明を聴いた後、意見交換をする

青少年育成コース

テーマ：若いリーダーの能力開発 訪問先：財団法人モラロジー研究所／特定非営利活動法人ETIC.（講演）



財団法人モラロジー研究所を訪問し、青少年育成活動の現状等について学ぶ



特定非営利活動法人ETIC.の概要説明や日本社会が克服すべき課題についての講演を聴いた後、ディスカッションする

日韓青年親善交流のつどい (11月6日～8日)

「日本・韓国青年親善交流」事業 (韓国青年招へい) の東京プログラムとして、11月6日から8日、千葉県長生郡にある日本エアロビクスセンターで「日韓青年親善交流のつどい」を開催しました。

これは日韓両国の青年が一堂に会し、寝食を共にすることにより、互いの文化や考え方を理解することを目的としているプログラムで、韓国青年代表団の他、内閣府青年国際交流事業既参加青年及び一般参加青年からなる日本青年合わせて約60名が参加しました。

今年度の取組として、プログラム冒頭に課題別視察を行いました。ディスカッション・テーマである「教育」と「環境」に関連する施設を日韓両国の青年が共に訪問し、現場視察や訪問先の担当者と懇談することにより知識を深め、その後のディスカッションに広がりを持たせることをねらいとしました。

参加青年

- ・韓国招へい青年 26名 (団長1名、通訳2名、団員23名)
- ・日本参加青年 22名 (内閣府青年国際交流事業既参加青年及び一般参加青年)
- ・実行委員 11名 (内閣府青年国際交流事業既参加青年)

プログラム内容

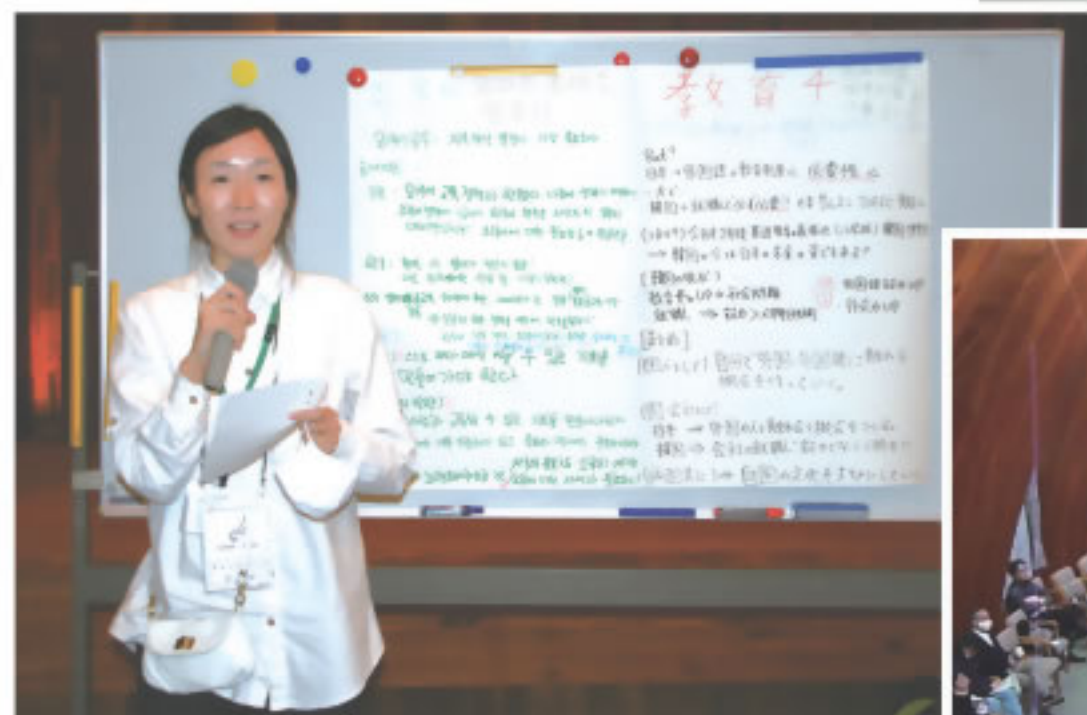
11月6日 (金)	
10:00~12:15 12:30~13:30 14:50~17:00	<課題別視察 (教育コース)> 明治学院大学訪問 昼食 日本エアロビクスセンターへ移動 (バス)
10:00~12:00 12:40~13:40 14:50~17:00	<課題別視察 (環境コース)> 中央防波堤埋立処分場訪問 昼食 日本エアロビクスセンターへ移動 (バス)
17:00 18:30~21:00	日本エアロビクスセンター入所、チェックイン 夕食交流会
11月7日 (土)	
8:15~10:30 10:30~14:30 15:00~17:25 18:45~21:00	レクリエーション及びオリエンテーリング 料理交流 ディスカッション テーマ「教育」「環境」 交流の夕べ
11月8日 (日)	
8:45 9:05~10:30 11:00~12:30	チェックアウト 日本エアロビクスセンター発 お台場着、昼食及び閉会式



課題別視察で中央防波堤埋立処分場を訪問し、職員からゴミ処理についての説明を受ける (環境コース)



▲話し合う内容について説明をする実行委員 (ディスカッション)



グループで話し合ったことを発表する (ディスカッション)



課題別視察で学んできたことをもとに小グループに分かれて話し合う (ディスカッション)



日韓青年がお互いに交換したプレゼントを手に記念撮影(交流の夕べ)



日韓両国の青年が協力して
ちらし寿司を作った(料理交流)



韓国から持参したプレゼントを渡す韓国青年(交流の夕べ)



日韓混合チームで共に汗を流した(オリエンテーリング)



餅作りを体験する日韓両国の青年(料理交流)

韓国青年の感想

- ・ お互いの考え方が共有できる大切な時間だった。
- ・ 親密な交流を通して日本に対する新しい発見がたくさんあった。
- ・ 日本滞在中、最高のプログラムだった。既参加青年によるプログラムの企画・運営がすばらしく、細かい時間配分でとても充実した有益な時間であった。
- ・ 移動時間などちょっとした時間の合間にも充実したプログラムが行われてとても良かった。ラジオ体操、料理交流などのプログラムは印象深かった。
- ・ プログラムを通して、実行委員の汗と情熱、そして、気遣いを感じることができ、とても感動した。ディスカッションも活発に行われ、楽しかった。

日本青年の感想

- ・ 異国の文化紹介だけではなく、人と人との交流に重点を置いたプログラムとして十分に楽しめた。
- ・ ディスカッションや料理づくりなどの時間を通じて、夢や、将来の仕事など、具体的にいろんな話をすることができ、本当に貴重な体験となった。
- ・ 内閣府の国際交流事業に初めて参加した。他の参加者とも全員初対面だったにもかかわらず、とても楽しく有意義な経験ができたのは、実行委員がプログラムを周到に練ってくださったおかげだと思い、とても感謝している。
- ・ 韓国と日本の青年が一体となることの意義を感じた。このような体験を通じて、個人的には韓国の理解に向けて言葉や文化を勉強していきたい。また、地元IYEOの活動などを足がかりにし、韓国との接点を保ちながら、周囲に韓国の魅力を伝えていければと思っている。
- ・ 施設内で行うプログラムだけでなく、地域に触れられるプログラムも取り入れたら、より良かったと思う。

平成21年度「日本・中国青年親善交流」事業（中国青年招へい）

「日本・中国青年親善交流」事業は、日中平和友好条約の締結を記念して、両国の共同事業として、昭和54年度から開始されました。平成21年度は、11月12日～26日まで、内閣府の招へいにより、中国青年29名が来日しました。当財団は、

東京プログラムの他、京都府、鳥取県の府・県庁及び日本青年国際交流機構（IYEO）を中心とする青少年団体と協力して、プログラムの企画、運営に取り組みました。

東京プログラム



◀ 歓迎会にて歓迎の挨拶をする福島みずほ内閣府特命担当大臣



▲ 早稲田大学を訪問し、大学の教員や留学生の受入等についての説明を受けた他、学食での学生との自由懇談、キャンパスツアーを行った。

■ 業種別交流会

中国青年代表団員の大半が社会人であることから、同じ業種の日本人参加者と意見交換をし、類似点、相違点及び今後の課題について話し合いました。



公務員グループ



ボランティアグループ

平成21年度「日本・中国青年親善交流」事業 日程表

月日	時間	主なプログラム
11月12日(木)	18:20 18:30～20:00	東京着 ＜東京プログラム＞ ＜団長、秘書長、団員代表＞福島みずほ内閣府特命担当大臣との懇談 内閣府主催歓迎会
11月13日(金)	09:00～11:00 11:30～11:45 12:00～16:30	中央防波堤埋立処分場見学 ＜団長、秘書長、団員代表＞ 平野博文内閣官房長官表敬訪問 早稲田大学訪問（学食での学生との自由懇談、教員説明、キャンパスツアー等）
11月14日(土)	13:05～19:45	業種別交流会（テーマ：公務員、企業経営、ボランティア）
11月15日(日)	10:00～17:00 18:00～20:00	日本青年同行による都内視察 中国派遣既参加青年との夕食会
11月16日(月)	13:30 15:15 16:00 17:15 18:30～20:30	＜京都府プログラム＞ 世界遺産・二条城見学 オリエンテーション 山田啓二 京都府知事表敬訪問 門川大作 京都市長表敬訪問 歓迎レセプション
11月17日(火)	09:30～11:30 13:30 16:00	ワコール訪問「企業の社会貢献についての講義」 周恩来記念碑訪問 世界遺産・清水寺見学
11月18日(水)	09:00 14:00 18:00	京都市市民防災センター訪問、消防ボランティアについての講義 株式会社おたべ本館訪問（産学連携の取組紹介、同志社大学学生との意見交換、菓子作り体験） ボランティアとの交流会
11月19日(木)	13:15 13:45 14:30 16:00	＜鳥取県プログラム＞ 藤井喜臣 鳥取県副知事表敬訪問 鳥取県の概要説明 鳥取県庁職員との意見交換 鳥取県立博物館及び鳥取城跡見学
11月20日(金)	10:00～13:30 14:00～15:30 17:30	湯梨浜町立羽合小学校訪問（授業見学、児童との交流、給食体験等） 名探偵コナンの里 青山剛昌ふるさと館 ホームステイマッチング
11月21日(土)		ホームステイ（幹部除く）
11月22日(日)	18:30～20:30	ホームステイ先⇒ホテル 歓送パーティー
11月23日(祝)	08:30 09:30	山根酒造酒蔵見学 あおや和紙工房（紙漉し及びちぎり絵体験）
11月24日(火)	09:30～11:30 15:00～17:30	＜東京プログラム＞ 本田技研工業株式会社埼玉製作所自動車製造ライン見学 NPO法人 ETIC 訪問
11月25日(水)	10:30～11:30 12:45～13:30 14:15～15:45 18:25 18:30～20:00	林芳正日中友好議員連盟事務局長との懇談 国会見学 裏千家東京道場訪問 ＜団長、秘書長、団員代表＞大島教内閣府副大臣表敬 内閣府主催歓送会
11月26日(木)	10:15～11:15	（株）キッズシティージャパン訪問 東京出発



企業経営グループ

【日本人参加者の感想】

グローバル化の進行は止めようもなく、中国も多かれ少なかれ欧米のルール・慣習に従って企業経営を行っていかざるを得ないと思われるところ、日本側プレゼンターの方々の平山建設株式会社の平山秀樹代表取締役社長のプレゼンテーションは、「企業はお客様を、社員を、地域を、そして経営者を幸せにする場」という旧来の日本型経営の良さを象徴しているもので、中国の方々にも大いに参考になったものと思われます。実際に、中国の方々の反応は大変芳しかったと感じました。

(企業経営グループ/藤原敏晴さん/株式会社みずほコーポレート銀行勤務)

地方プログラム

■ 京都府



◀ 京都市市民防災センターにて、消火器の使い方等を体験した他、消防ボランティアの説明を聞き、防災への取組に理解を深めた。



株式会社おたべ本館を訪れ、日本青年と「おたべ」作りに挑戦した後、同志社大学との産学連携についての講義に耳を傾けた。

【中国青年代表団員の感想】

- ・ ボランティアとの交流が充実していた。
- ・ 京都府は日本人の心の故郷である。奥深い文化があり、静かだけれど現代の息吹を失わず、自然と共存し、人と自然の調和を重んじている。京都市市民防災センターの訪問は、政府が国民を大切に、無料で防災知識の講座に参加させることにより、災害を未然に防ごうとしていることを、知ることができた。私たちはこれに学ぶべきである。

■ 鳥取県



湯梨浜町立羽合小学校にて、校長先生から小学校の概要を聞いた後、2年生と日中両国の言葉で自己紹介やゲームで交流した。

【中国青年代表団員の感想】

- ・ 鳥取県の人々はとても純朴だった。小学生との交流では自分たちも笑顔になり、ホームステイでは、まるで自分の家にいるような感覚を覚えた。ホームステイを体験することは、中国青年にとってとても素晴らしいことで、人と人之间には境界はない、と感じられた。私たちは、友人たちの気遣いや、家族の温かさを感じた。

平成21年度「日本・中国青年親善交流」事業

主催 内閣府
日本青年国際交流機構 とっとり青友会



2泊3日と一緒に過ごしたホストファミリーと(歓送会)

【今後、この事業の経験をどのようにいかしていきたいですか】

- ・ 平和と友好を提唱する。日本に注目し、日本と親しくし、友好を広く伝える。
- ・ 今後、青年育成に従事する上で、学んだ知識を多くの中国青年に伝え、日中の青年の友好交流を促進したい。
- ・ 帰国後、日本の節約や省エネの概念を日常や仕事の中でいかしたい。

平成21年度「国際理解教育支援プログラム」

(財)青少年国際交流推進センター(CENTERYE)は、青少年国際交流事業の実施、青少年国際交流に関する啓発、情報提供、支援などを通じて、社会の各分野において国際化時代にふさわしい青少年の育成を目標としています。

その具体的な活動の一つとして、内閣府青年国際交流事業に参加した在日外国青年等を日本の学校等に派遣する「国際理解教育支援プログラム」を平成16年度から実施しており、今回は、宮城県と東京都でのプログラムについて報告します。

実施先：宮城県仙台市立東六番丁小学校 実施日：平成21年12月4日(金)
参加者：3年生62名

■ 講師

派遣された既参加青年等	出身国	参加事業／職業等
Krit Mnator	タイ	第32回「東南アジア青年の船」事業参加青年
Chaw Liling	ブルネイ・ダルサラーム	東北大学留学生(地元手配)
張 蕾	中国	東北大学留学生(地元手配)
Islam Mohamad Aminul	バングラデシュ	語学学校留学生(地元手配)

■ 協力者

伊東 秋恵	通訳ボランティア	元児童英会話講師
工藤 さくら	通訳ボランティア	東北大学学生
伊勢 みゆき	コーディネーター	仙台市立東六番丁小学校 学校支援地域本部コーディネーター 第13回「世界青年の船」事業参加青年 第30回「日本・中国青年親善交流」事業副団長
宮城県国際交流協会		国旗貸出の協力

■ スケジュール

09:35~09:45	自己紹介&各国の言葉で挨拶
09:45~10:20	全体での各国の紹介
10:45~11:20	ブース毎の各国紹介、質疑応答
11:20~11:30	感想発表、ふりかえり

【コーディネーターからの感想】

国語で「すがたを変える大豆」を勉強した子どもたち。先生からの依頼は、日本でよく食べられている豆が外国でも食されている事を知ることきっかけに、諸外国の生活や文化に興味を持たせることと、直接かかわれる形での交流をさせたいということでした。子どもたちは、自分が興味をもった国や人のところへ行って、質問をしたり、初めて聞く国のお話に驚いたりしていました。担任の先生からも「子どもたちはこの日を楽しみにしていました。興味をもって自ら活動していたのでよかったです」という声をいただきました。

【子どもたちの感想】

- ・ もっと世界のトピラを開けたいです。
- ・ 国にはいろいろな違いがたくさんあります。それを調べてみたいです。
- ・ 外国の食べ物を食べてみたくなりました。



校長先生にあいさつする外国人講師



担任の先生がゲストティーチャーの紹介をする



ブルネイの話聞く子どもたち



中国の説明をする張蕾さん



バングラデシュの文字で自分の名前を書いてもらう子どもたち



タイの紹介をするKritさん

【Kritさんの感想】

学校訪問の前半でメインになったのは豆の話題でした。子供たちは、豆と豆を使った様々な料理について学びました。しかし私たち4人の発表者が用意していたのは豆料理だけではありません！面白い場所やびっくりするような事実、様々な言語でのあいさつなども紹介しました。

後半には、子供たちはそれぞれ関心があるブースに行って、その国について知りたいことを質問しました。子供たちは4か国以外のことにも興味を示しました。各国の民族衣装に身を包んでいる先生方もいましたが、子供たちは大好きな先生の普段と違う姿

を見て大喜びでした。好奇心たっぷりにあれこれ質問する子供や、興味を持ったことをメモする子供もいました。

プログラムの最後に、子供たちは自分の意見や新しく発見したこと、関心を持ったことを発表しました。彼らはこの活動から多くのことを学びました。国際理解は子供のころにすでに始まっています。国境を越えたコミュニティは、子供たちという未来の力から生まれるのです。子供たちはたくさんのことを学ぶと同時に、私たちにとっても忘れられない1日となりました。

実施先：東京都立大塚ろう学校江東分教室
 実施日：平成21年12月21日(月)13:40～15:15
 担当：赤司 郁子教諭(平成6年度「国際青年育成交流」事業(トンガ)副団長)
 参加者：小学部5・6年生 計7名

■ 講師

派遣された既参加青年等	出身国	参加事業
Damon Irvine	ニュージーランド	第11回「世界青年の船」事業 参加青年 第17回「世界青年の船」事業 ナショナル・リーダー
Sophie Ayling	イギリス	

■ 授業のねらい

- ・これまで学習した英語で簡単な会話をする
- ・言葉が違って「伝えたい」という気持ちがあれば、仲良くなれることを知る
- ・世界にはいろいろな国があり、さまざまな文化があることを知る

■ スケジュール

13:40～14:20	導入 始まりのあいさつ 外国人講師の紹介 児童の自己紹介 講師の国の話を聞こう (クリスマスの風習についても含める) 質問しよう (質問事項を事前に用意しておく)
14:20～15:15	交流とまとめ クリスマス・オーナメントを作ろう イギリス班、ニュージーランド班の2グループに分かれ、それぞれの班で協力して、イギリス風オーナメントとニュージーランド風オーナメントを作る 前に出て作品の説明をする



デーモンさんが持参したニュージーランドの写真に見入る子どもたち



ソフィーさんによるイギリス文化の紹介



トナカイの角を作るニュージーランド班



英語で一生懸命自己紹介する子どもたち



イギリス班の作品



まとめの説明を真剣に聴く子どもたち

【同行者の観察】

子どもたちは、おそらくこれまで何百回と練習したと思われる英語での自己紹介を一生懸命披露してくれた。緊張気味の児童もいたが、全員が外国人講師ときちんとあいさつをすることができた。

その後、講師が準備してきた各国の様子やクリスマスの風習についてのパワーポイントや資料を興味深く見た。赤司先生が適宜、手話で説明を補足するなどして、子どもたちの理解が深まるように助けた。

次に、2班に分かれて、オーナメントを作った。イギリス班では、紙を切り抜いてジンジャーマンの形にした。作っているうちに、だんだん上手になって、先生から「もう終わりですよ」と言われても、夢中になって作り続けている子どももいた。大小様々な形の

ジンジャーマンができあがった。最後にすべてのジンジャーマンを糸でつないで、すてきなオーナメントが完成した。

ニュージーランド班は、自分の手形を紙に写し取ったものを利用して、トナカイの角を作り、頭にかぶった。また、雪だるまをデザインしたカードを作った。ぼうしや手袋、雪の模様など、それぞれがとても個性的な雪だるまを作り、そばで見ている、子どもたちのセンスのよさに感銘を受けた。

どちらの班でも、子どもたちは、はさみや色ペンを交換し合ったり、手際よくのりを貼ったりして、仲良く助け合いながら、制作を楽しんでいた。

授業終了後、下校前の子どもたちが講師の控室にやってきて、きちんとお礼を言って帰っていったのには感心した。

本プログラムの利用・参加を希望される方は

e-mail: iuesp@iyeo.or.jp tel: 03-3249-0767 fax: 03-3639-2436までお問い合わせください。

日中青少年交流事業

日本青年訪中代表団へのIYEO代表者派遣



参加者の記念撮影

(財)日中友好会館から、日本青年国際交流機構 (IYEO) に対し、日中青少年交流事業の日本青年訪中代表団(平成21年9月16日～22日)の青年団体分団の団員3名の推薦依頼があり、当財団としては、内閣府青年国際交流事業事後活動支援の一つとして協力しました。参加要件は、「21世紀東アジア青少年大交流計画事業」に貢献があり、かつ、中国への訪問の経験が少ない方が望ましいとのことでした。

昨年、当財団が実施団体となった、21世紀東アジア青少年大交流計画事業 平成20年度日中韓青少年交流事業で、中国青年、韓国青年の受入れを行った熊本県及び大阪府のIYEOから役員を各1名、東京の会員から1名の合計3名が参加しました。



昆明で訪問した少数民族村にて

参加者

氏名	所属
楠木 由利香	熊本県青年国際交流機構 事務局長
岩井 美紀江	大阪府青年国際交流機構 副会長
吉原 信一	東京都青年国際交流機構 会員

プログラム

月 日		プログラムの内容
9月16日 (水)	夜間	北京到着
9月17日 (木)	午前	〈青年団体〉中国青年政治学院訪問 中国青少年研究センターの研究者と交流
	午後	〈青年団体〉北京青年創業モデル基地参観 中国基礎知識講座 中華全国青年連合会歓迎会
9月18日 (金)	午前	北京から昆明へ移動
	午後	昆明到着
9月19日 (土)	午前	〈青年団体〉青年ボランティアと交流
	午後	雲南民族村参観 雲南少数民族との篝火パーティー (雲南民族村内)
9月20日 (日)	午前	昆明市呈貢県新農村建設モデル村、 關南花卉市場参観
	午後	昆明新城区、昆明農企企業集團参観 昆明から広州へ移動
9月21日 (月)	午前	〈青年団体〉広東外語芸術職業学院訪問 教師、学生と交流
	午後	〈青年団体〉広州市青年文化宮参観、交流 広東省青年連合会主催歓送会 (珠江クルーズ)
9月22日 (火)	午前	帰国

【参加者の感想】

吉原 信一

あっという間の一週間だった。見るもの、聞くこと、経験すること全てが刺激的で本当に多くのことを学ぶことができた。帰国した今も心の中に大きな余韻が残っている。

北京では、街の発展していく姿と青年の輝く瞳が印象に残っている。中国青少年研究センターでは今の中国の若者は国の発展、自分の成長を望んでいる傾向が強いという話を伺った。彼らは自分の運命を自分自身で変えることができる環境を得た世代であり、農村の青年も都市部の青年と同じく競争しているということであった。北京青年就業創業実習基地は、新しい起業家を支援する施設であるが、そこで出会った中国の青年たちの目は輝いていた。企業を成長させ、将来的にその地域の人に仕事場を提供するという意気込みを見た。満たされた生活環境で生まれ育ち、飽和状態にある日本の若者に欠けつつある意欲のように思われた。社会や自分の将来に真摯に向き合い、そこで自分ができるところに挑戦していくという意欲、それこそが現代日本が学ぶべき姿勢の一つと感じた。

昆明では、雲南省青年ボランティアとの交流で日中両国におけるボランティアに対する意見交換ができた。日本よりも中国の方がボランティア活動に対する援助が多く、活動しやすい体制が整えられていると感じた。中国の方々は日本と協力して何かボランティア活動をしたいという提案もされていたので、今後そういったことが実現できればおもしろいと考えている。

今回、D分団青年団体の一員としての訪中は、自分の人生の中でも非常に大きな経験になった。これからの日中関係について、またこれからの自分の将来について考えるきっかけになった。帰国した今、まずは中国で学んできたことを家族や友人に伝えていきたい。そして訪中の経験をいかし、日中友好のための交流活動により積極的に取り組んでいきたい。最後に、この事業のために御尽力下さった日本政府ならびに日中友好会館の方々、また受入れをしていただいた中国政府・中華全国青年連合会の皆様に心から感謝したい。

内閣府青年国際交流事業 大学説明会 実施報告

内閣府青年国際交流事業を広報するため、内閣府よりの契約に基づいて首都圏の大学を中心に、「大学説明会」を実施しました。平成21年度は、10月22日(木)から平成22年2月3日(水)にかけて20大学、22キャンパスで開催し、合計531名の方が説明会に参加しました。

説明会では内閣府担当者からの事業説明の後に、既参加青年より応募の動機や、事業に参加して得られたもの、今後、事業参加の体験をどのようにいかしたいか等を語ってもらいました。応募を検討している大学生は、熱心に説明に耳を傾け、質問していました。



パワーポイントを使って自らの体験を語る既参加青年



小グループに分かれて、事業の詳細な説明を受ける学生

■ 内閣府青年国際交流事業説明会の流れ(所要90分程度)

プログラム内容		時間
1	内閣府担当者からの6種類の事業概要説明	15分
2	事業既参加者の話(2名)	10分
	・船による海外派遣事業参加者OBによる報告 ・航空機による海外派遣事業参加者OBによる報告	10分
3	内閣府担当者からの平成22年度募集事業概要説明	10分
4	質疑応答&事業ごとに分かれて懇談会 (OB&OGや担当者を交えて相談タイム)	30分

■ 平成21年度大学説明会実施内容

月日	時間	実施大学	参加人数
10月22日(木)	16:40~17:55	上智短期大学	約130名
10月23日(金)	16:35~18:05	中央大学	7名
10月29日(木)	15:55~16:10	明治大学	13名
11月18日(水)	16:30~18:00	明治学院大学 白金キャンパス	10名
11月25日(水)	17:00~18:30	早稲田大学	66名
11月26日(木)	12:50~14:20	法政大学	35名
11月27日(金)	16:45~18:15	明治学院大学 横浜キャンパス	33名
11月30日(月)	16:10~17:40	桜美林大学	6名
12月2日(水)	17:30~19:00	横浜市立大学	11名
12月3日(木)	18:00~19:30	立教大学	3名
12月7日(月)	15:00~16:30	東京外国語大学	10名
12月8日(火)	12:20~13:10	お茶の水女子大学	15名
	17:00~18:30	上智大学	6名
12月9日(水)	15:00~16:30	青山学院大学 相模原キャンパス	55名
	15:00~16:30	一橋大学	1名
12月10日(木)	16:30~17:30	津田塾大学	10名
12月11日(金)	16:45~18:15	筑波大学	43名
12月14日(月)	12:20~13:50	獨協大学	18名
12月15日(火)	18:00~19:30	学習院大学	3名
12月16日(水)	13:00~14:30	青山学院大学 青山キャンパス	8名

平成22年

1月19日(火)	14:40~16:10	群馬県立女子大学	36名
2月3日(水)	12:10~13:40	東北大学	12名

世界を知ろう！日本を伝えよう！

平成21年度
内閣府 内閣府

参加者募集

青年国際交流事業説明会

日時：平成21年〇月〇日
場所：〇〇キャンパス
対象：〇〇大学生の皆さん

※事前申込みは不要です。入退場自由です。直接会場へお越しください。

内閣府では、日本と世界各国の青年の交流を通して、相互理解を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を身につけた次代を担うにふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を実施しています。

平成22年度事業説明会の流れ(予定)：所要90分程度

- 内閣府担当者からの6種類の事業概要説明(15分程度)
- 事業既参加者の話(2名)
 - 船による海外派遣事業参加者OBによる報告(10分程度)
 - 航空機による海外派遣事業参加者OGによる報告(10分程度)
- 内閣府担当者からの平成22年度募集事業概要説明(10分程度)
- 質疑応答&各事業ごとに分かれて懇談会(OB&OGや担当者を交えて相談タイム)：30分

問い合わせ先：(財)青少年国際交流推進センター 担当：桑原真哉
電話：(03) 3249-0767(代表) FAX：(03) 3639-2436
Email: setsumeikai@iyeyo.or.jp

募集紹介HP <http://www.cao.go.jp/koryu/>

ポストカードができました!

好評頒布中!

「グローバル・フォト・コンテスト (GPC)」の受賞作品で、マクロコズムの表紙を飾った写真のうち10枚が選ばれ、ポストカードになりました。

GPCは、2004年3月の「世界青年の船」事業「既参加青年東京連絡会議」において発案され、IYEO設立20周年記念事業としても取り組まれたプロジェクトです。これまでのプロジェクトの成果をポストカードという形で広く一般に広めるとともに、作品を通してIYEOの広報に役立てる提案が、平成21年3月の全国推進会議においてされ、実現しました。

作 成：日本青年国際交流機構(IYEO) 頒布価格：¥200 (10作品×各1枚)

送 料：8セットまで¥80 (メール便) 8セット以上はお問い合わせください。



5冊以上
送料無料

内閣府青年国際交流事業50年記念 ターニングポイントⅢ<特別編> 発刊

50年の事業の歴史を写真でつづるとともに、国内外の66名の方の多彩な体験談、全ての事業の歴史的資料及び事後活動資料が掲載されています。

<http://iyeo.or.jp/ja/info/turningpoint/>

発行日：平成21年11月30日

発行：日本青年国際交流機構(IYEO)

内容：A4版、186ページ

頒布価格：¥1,500 (送料1冊 ¥160、2冊 ¥320、5冊以上送料無料)



セットがおトクです!
ターニングポイントⅠ、Ⅱ、Ⅲをまとめてお求めいただく場合、
¥3,000 (通常¥3,500)

お申し込みは こちら

申込方法：①希望数、②氏名、③送付先住所、④電話番号を以下へお知らせください。

TEL: 03-3249-0767

FAX: 03-3639-2436

e-mail: iyeo50th@iyeo.or.jp

支払い方法：送料及び頒布代金を以下の口座にお振込みください。振込手数料はご負担ください。振込み確認でき次第、発送します。

郵便振替口座番号：

00140-3-73972

日本青年国際交流機構

今月の表紙

第4回グローバル・フォト・コンテスト
テーマ：「次の世代に遺したいもの」

タイトル：Building bridges between generations
(世代を越えた交流)

撮影者：Fabricio Borges Carrijo
(SWY 18、スペイン)

撮影場所：スペイン



編集後記

このマクロコズムの表紙にもなっている写真をパネルにした「グローバル・フォト・パネル」の貸し出しを希望される方が増えてきました。貸し出しの際に同封するアンケートには、写真パネルの展示が好評であった旨が記載されていることが多く、この美しい写真を多くの人に見てもらえることをとてもうれしく思います。ぜひ、ご活用ください。(ふ)

連絡先：e-mail: globalphoto@iyeo.or.jp

MACROCOSM 2月号 vol.88

2010年2月26日発行

編集 マクロコズム編集委員会

発行 (財) 青少年国際交流推進センター

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町
2-35-14 東京海苔会館6階

TEL: 03-3249-0767 FAX: 03-3639-2436

e-mail: macrocosm@iyeo.or.jp

URL: <http://www.centerye.org/> (CENTERYE)

<http://www.iyeo.or.jp/> (IYEO)

編集協力 内閣府政策統括官(共生社会政策担当)

日本青年国際交流機構 (IYEO)

定価 200円 (本体191円)

印刷所 株式会社デックス

TEL: 03-3400-8089 FAX: 03-5469-5270



「ココロ花咲く、ステキな旅を。」

支店名	電話番号
札幌支店	011-221-0821
青森支店	017-723-3671
盛岡支店	019-651-8800
仙台支店	022-263-3232
秋田支店	010-966-0106
山形支店	023-641-4141
福島支店	024-523-4451
新宿支店	03-3340-0600
横浜支店	045-326-1120
水戸支店	029-224-6627
宇都宮支店	028-636-7761
高崎支店	027-325-3201
さいたま支店	048-640-1009
千葉支店	043-243-0109
新潟支店	025-243-1515
甲府支店	055-222-0384
長野支店	026-226-4315
富山支店	076-431-7638
金沢支店	076-233-0109
福井支店	0776-23-2800
岐阜支店	058-263-4657
静岡支店	054-255-1919
浜松支店	053-453-0166
名古屋支店	052-232-1091
三重支店	059-221-3331

支店名	電話番号
大阪支社第2営業部	06-6344-3933
滋賀支店	077-565-0109
京都支店	075-361-5351
神戸支店	078-221-1090
姫路支店	079-224-5761
奈良支店	0742-23-2371
和歌山支店	073-425-3211
鳥取支店	0857-23-2001
松江支店	0852-21-5425
岡山支店	086-225-1746
広島支店	082-545-1090
徳島支店	088-622-8991
高松支店	087-851-6666
松山支店	089-941-9231
高知支店	088-825-0109
新山口支店	083-972-5454
福岡支店	092-739-0010
佐賀支店	0952-26-1131
長崎支店	095-827-4151
熊本支店	096-354-5765
大分支店	097-538-1091
宮崎支店	0985-25-6111
鹿児島支店	099-257-0109
沖縄支店	098-868-8822

国際会議から出張まで、
お問合せは、上記支店またはお近くのトップツアー各支店へ

お客様満足度100%+αを追求するサービスマインド。

お客様の立場になる「想像力」、プラスアルファを創る「創造力」。

50年の実績と豊富な情報力を駆使して

高品質・高付加価値の商品とサービスを提供するトップツアー株式会社。

私たちは、旅を通じて新しい出会いと感動を創出する

[旅行インテリジェンス企業]です。



東急観光が社名を変えました。

トップツアー株式会社 新宿支店

官公庁長官登録旅行業第38号 ●日本旅行業協会正会員・ポンド保証会員
〒153-8550 東京都目黒区東山3丁目8番1号

TOPTOUR <http://www.toptour.co.jp>

03-3340-0600





写真提供: 三好和典

New NIPPON MARU 2010.3 DEBUT.

装いも新たに、皆さまのご乗船を心よりお待ちしております。

神戸ゆったりワンナイトクルーズ 2日間

2010. 4/21(水)~4/22(木) 神戸→神戸

■旅行代金 (大人お一人様・消費税込)
40,000円 ~190,000円

夕暮れの神戸を背景に出港し、極上のディナーとショーを満喫。瀬戸内海の多島美を一望、明石海峡大橋などをくぐるクルーズならではの体験も楽しみです。



夏休み 三陸クルーズ ~石巻・釜石~ 4日間

2010. 7/28(水)~7/31(土) 横浜→石巻→釜石→横浜

■旅行代金 (大人お一人様・消費税込)
127,000円 ~600,000円

夏真っ盛り、さわやかな気候の東北地方を訪ねます。海の幸が豊富な石巻には初入港。みちのくの魅力と地元食材を存分に満喫していただけます。



写真提供: 宮城県観光課

名古屋/横浜カジュアルクルーズ 2日間

2010. 7/27(火)~7/28(水) 名古屋→横浜

■旅行代金 (大人お一人様・消費税込)
31,000円 ~176,000円

夕刻に名古屋を出港し、翌日の午前中に横浜に入港する手頃な日程、お値段のクルーズです。厳選のエンターテイメントや上質な食事などをご堪能ください。

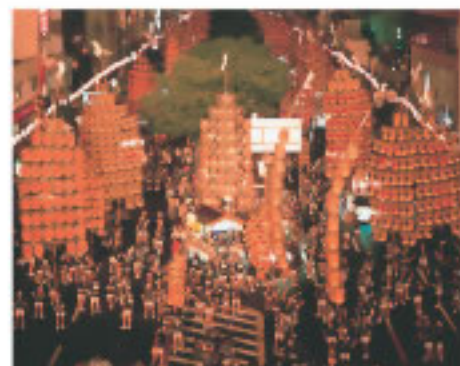


東北夏祭りクルーズ 6日間

2010. 8/2(月)~8/7(土) 横浜→秋田→青森→横浜

■旅行代金 (大人お一人様・消費税込)
222,000円 ~1,050,000円

祭り一色に染まる東北の夏、秋田竿燈まつりと青森ねぶた祭をにっぽん丸のお客様専用の機敷席から観覧していただけます。その迫力を間近で体感してください。



※表示の代金はコンフォートステートグループ3 (1室3名利用) ~グランドスイート (1室2名利用) の大人お一人様 (船内食事付/消費税込) 旅行代金です。
※このほかにも各種クルーズがございます。お気軽にお問い合わせください。※掲載の写真はイメージです。

商船三井客船
〒107-8532 東京都港区赤坂1-9-13 三合堂ビル5F

お問い合わせ・お申込は商船三井客船クルーズデスク
0120-791-211

URLが変わりました

<http://www.nipponmaru.jp>



ボンド保証会員